

武雄市立武雄中学校学校便り

叶 武



NO. 16 令和元年10月7日

〒843-0024

武雄市武雄町大字富岡11606番地

TEL 0954-22-4105

文責 校長 熊野辰未

学校教育目標 「高い志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒の育成」

《二学期がスタートしました》

本日から二学期がスタートしました。始業式での話の内容です。

みなさん、おはようございます。始業式が始まる前にたくさんの表彰報告をしてもらいました。これだけの表彰報告がなされている学校はそうないと思いますよ。みなさんの活躍は本当に素晴らしいと思います。私は誇りに思います。3日前の駅伝大会の時です。女子が1位でゴールを切ったとき、隣に座っていたある校長先生が、「武雄は何の競技でも強かね。校長室に優勝旗の何本ああね。」と言われ、「6本ありますよ。これで7本目になりますね。」と自信をもって応えることができました。優勝旗が何本あるということが問題ではなく、みなさんが、文化面やスポーツ面に一生懸命頑張っていることが大切なことであり、その努力の延長に結果がついてくるということです。本当にみなさんは、素晴らしいと思います。

さて、今日から2学期が始まります。先ほど各学年の代表3名の人に2学期の抱負を発表してもらいましたが、それぞれに2学期に向けた意気込み、意欲を感じました。明日から3年生は修学旅行、2年生は職場体験、1年生は、8日に講演会、10日に職業講話、そして11月1日は、合唱コンクール、12月10日は、生徒会長選挙とこれから大きな学校行事があります。また、12月12日は武雄中学校の研究発表会が予定されており、多くのお客様が武雄中学校にお見えになり、授業参観等が行われます。

そこで、みなさんに次のことを期待します。まず、一人一人の心を一つにして、学校行事を成功させ、「いいこといっぱい」の武雄中学校の実現を期待します。そして、行事を通して学級や学年の絆を強め、一人一人が大きく成長することを願っています。実り大きい2学期にしてもらいたいと思います。

今の学級集団は、武雄中学校の一つの学級で、中学校の学習内容をきちんと学ぶこと、自分の進路を考え選んでいくこと、また、将来社会人として必要な力を身につけることなど、目的を持った集団です。その目的実現のために、一人一人が役割を分担して、みんなのためになることをやってもらうこととなります。そして、誰かが困っているときには助け、協力して、励ます言葉、支える言葉をかけ合うことにより、集団も高まり、すばらしい集団となっていきます。また、そのことにより、

一人一人も成長していくことになります。そのような仲間、集団であることを望みます。

それでは、学期の初めですのでこれから心がけてもらいたいことを話したいと思います。

人間には約60兆個の細胞があり、そのうち毎日約20%(12兆個)がなくなって、毎日これを補っているそうです。

脳細胞は、というところ3歳頃まで増殖し、その後は全く増えず生き続け、10代からは減少するのみとのことです。実際は、20歳頃から1日20万個から30万個の規模で脳の細胞が死滅するのみです。我々の脳には、学習活動をつかさどる大脳皮質だけで140億個の脳細胞があり、すべて死滅するのに70,000日、約192年かかる計算になります。脳は使わないと衰えるので、遠慮無く使うことです。使えば使うほど脳は活性化するといわれています。「脳は決して疲れない」とある本には書かれています。脳を鍛えるときはいつか、「今でしょ。」ということです。鍛えていない人は、今からしっかり鍛えてもらいたいと思います。

特に、3年生は、いよいよ正念場です。この秋の努力が自分自身を高めてくれます。決して、あきらめることなく、夢、目標に向かってコツコツ努力を続けてもらいたいと思います。15の春を笑顔で迎えられるようにがんばりましょう。

最後に、2つの言葉を紹介します。1つ目は、職員室の廊下にも掲示していますが、

「意志あるところに道は開ける」

アメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーンの言葉です。どんなに困難な道でもそれをやり遂げる意志さえあれば必ず道は開けるということです。

2つ目は、教室棟1階の西側階段前に掲示していますが、

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。」

作家の井上靖の言葉です。

希望を語る人は努力するけど、不満ばかり言っている人は怠けるようになってしまっても解釈できそうです。

人間は、夢や希望・目標があるからこそがんばることができるのです。将来の夢や高い志を持って具体的な計画を立て、確実に一歩が踏み出せるようにがんばってください。2学期を期待しています。